



学校再開後の授業風景

Q

学校再開後の小・中学校の運営について

たかはし けんじ
高橋 剣二 議員



A

国や県のガイドラインを参考に慎重に進めていく

- 問** 休校期間中の学習・生活状況の把握について。
- 答** 電子メール、電話、家庭訪問、課題提出のための登校時に確認した。
- 問** 休校期間中の保護者からの意見は。
- 答** 卒業式や入学式、学校開放、再開後の対応についてなど、82件の意見が寄せられた。
- 問** 学校再開後に対応が必要なものについて。
- 答** 新型コロナウイルス感染症対策のほか、特に学習面のフォローと心のケアが必要である。
- 問** 学習指導要領の消化の見込みについて。
- 答** 夏季休業日の短縮や余剰授業時間を活用することで、消化できる見込みである。

- 問** 運動会、文化祭、修学旅行等の行事の予定について。
- 答** 実施の有無や方法について、国及び県からのガイドラインを参考に慎重に検討を進めていく。
- 問** オンライン授業の導入について。
- 答** 導入に向けた課題解決の方法も含めて検討を進めていく。
- 問** 第2波への対応について。
- 答** 学びの保障や心のケア等について事前に準備をしておき、速やかに、かつ十分な対応ができるようにしていく。

Q

新型コロナウイルスに関する市の対応と今後

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A

正しく恐れることを発信する

- 問** 感染者が市内で発生したときの対応は。
- 答** 寄せられた不安に対して健康相談を行い、必要に応じて県のサポートセンターを紹介した。今後健康相談に対応し、速やかに正確な情報を発信していく。
- 問** 6月17日現在、新型コロナウイルスの死者数は約930人。一方、
- 国のいわゆる新型コロナウイルス基本的対処方針等によると、季節性インフルエンザの超過死亡は年間で約1万人。また、新型コロナウイルスの致死率はインフルエンザより相当程度高いとされている。これらを市民に示し、3密回避などの感染症対策を粛々と行うよう周知すべきでは。

- 答** 惑わされないように、正確な情報に触れて正しく恐れるということを発信していく。
- 問** 市民の生活支援に関する取組にスピード感がないが。
- 答** できることについては素早く行った。一方、調整を必要とする支援策もあり、そちらについてはある程度の時間を要した。
- 問** 非常時である。児童・生徒個人や家族のパソコン等を活用し、オンラインによる学びの保障を早期に進めていくべきでは。
- 答** 国のGIGAスクール構想の推進や学校にあるパソコンの活用を検討している。



市が発行した配布物